



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 袖山 英則 TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,908	4.5	36	—	25	—	13	—
27年3月期第1四半期	2,783	△5.8	△59	—	△69	—	△52	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 15百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △50百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.16	—
27年3月期第1四半期	△8.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	6,875	1,422	20.7	227.25
27年3月期	6,676	1,406	21.1	224.82

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,422百万円 27年3月期 1,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	1.4	180	—	100	—	40	—	6.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	7,275,000株	27年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,017,311株	27年3月期	1,016,811株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	6,258,080株	27年3月期1Q	6,258,189株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出企業の好調な業績や株式市場の堅調な推移を背景として企業収益や雇用情勢に改善がみられ、緩やかな景気回復基調が続きました。しかしながら個人消費動向においては回復の兆しはあるものの、税及び社会保険料の負担増に伴う可処分所得の横ばい傾向が続いており、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループでは「改革へのチャレンジ」の年度スローガンに基づき、みやげ事業を中心に販路拡大策の実施や社内業務の改善に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,908百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は36百万円（前年同四半期は59百万円の営業損失）、経常利益は25百万円（前年同四半期は69百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13百万円（前年同四半期は52百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社及び当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と当社開発のオリジナル商品群の提案による販路拡大を進めたこと、また北陸新幹線の金沢延伸に伴い同沿線近隣への新規開拓を推進したことにより受注が伸びた結果、売上高は1,684百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、営業利益は61百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、2015年3月を以って閉鎖した「海老名旬粋店」の影響が懸念されましたが、長野市の善光寺御開帳の開催により「善光寺旬粋店」の売上が大幅に伸びた結果、売上高は491百万円（前年同四半期比29.6%増）となり、営業利益は55百万円（前年同四半期は36百万円の営業損失）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、当社や各地の当社子会社及び各観光地の取引先の地域性を活かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。また2015年2月より販売を開始した長野県産の素材にこだわった商品「りんごのささやき」、善光寺御開帳関連商品の受注が伸びた結果、営業利益は15百万円（前年同四半期は8百万円の営業損失）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーターの増加に努めた結果、来場者数が増加し、売上高は386百万円（前年同四半期比1.6%増）となり、営業損失は23百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は26百万円（前年同四半期比5.4%減）となり、営業利益は一部建物において修繕費の発生により4百万円（前年同四半期比54.6%減）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりましたが、2015年3月を以って閉鎖した長野市内の「バンバン川中島店」の影響もあり、売上高は170百万円（前年同四半期比5.8%減）となり、営業利益は9百万円（前年同四半期比32.6%減）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、長野市内においてギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は149百万円（前年同四半期比14.0%減）となり、営業利益は3百万円（前年同四半期比67.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円（11.6%）増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が149百万円、商品及び製品が133百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は4,044百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円（2.3%）減少いたしました。これは主に有形固定資産が37百万円、投資その他の資産が50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円（3.0%）増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円（6.5%）減少いたしました。これは主に短期借入金155百万円、その他流動負債に含まれる未払金が65百万円それぞれ減少し

たことによるものであります。固定負債は2,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円(24.8%)増加いたしました。これは主に長期借入金が419百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,453百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円(3.5%)増加いたしました。
(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円(1.1%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益13百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.7%(前連結会計年度末は21.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日開示の平成27年3月期決算発表時と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,699	1,007,630
受取手形及び売掛金	820,842	970,518
商品及び製品	498,318	631,996
原材料及び貯蔵品	72,347	80,607
その他	93,478	146,889
貸倒引当金	△4,512	△6,643
流動資産合計	2,537,173	2,830,997
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,111,247	1,075,362
土地	1,004,650	1,004,650
その他(純額)	299,835	298,162
有形固定資産合計	2,415,733	2,378,174
無形固定資産	92,904	85,212
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,037,571	989,740
その他	606,548	603,709
貸倒引当金	△13,243	△12,584
投資その他の資産合計	1,630,876	1,580,865
固定資産合計	4,139,514	4,044,252
資産合計	6,676,687	6,875,249
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,898	478,537
短期借入金	2,525,436	2,369,922
未払法人税等	20,892	14,752
賞与引当金	53,747	92,108
返品調整引当金	4,008	4,801
ポイント引当金	11,096	11,392
その他	505,778	386,664
流動負債合計	3,590,857	3,358,178
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,091,075	1,510,898
役員退職慰労引当金	66,854	65,354
資産除去債務	337,890	339,728
その他	83,046	79,040
固定負債合計	1,678,866	2,095,022

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債合計	5,269,724	5,453,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	708,318	708,318
利益剰余金	△100,952	△87,414
自己株式	△199,825	△199,925
株主資本合計	1,407,539	1,420,978
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△576	1,069
その他の包括利益累計額合計	△576	1,069
純資産合計	1,406,963	1,422,048
負債純資産合計	6,676,687	6,875,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,783,971	2,908,491
売上原価	2,110,682	2,180,068
売上総利益	673,289	728,423
販売費及び一般管理費	732,381	692,045
営業利益又は営業損失(△)	△59,091	36,378
営業外収益		
受取利息	2,036	2,031
受取配当金	389	386
仕入割引	882	1,131
受取事務手数料	1,320	840
その他	3,082	1,515
営業外収益合計	7,711	5,904
営業外費用		
支払利息	17,231	16,199
その他	605	349
営業外費用合計	17,836	16,549
経常利益又は経常損失(△)	△69,216	25,733
特別利益		
固定資産売却益	—	411
特別利益合計	—	411
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△69,216	26,144
法人税、住民税及び事業税	15,862	11,845
法人税等調整額	△32,797	760
法人税等合計	△16,934	12,606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,282	13,538
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△52,282	13,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,282	13,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,872	1,646
その他の包括利益合計	1,872	1,646
四半期包括利益	△50,409	15,185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,409	15,185
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,641,950	378,971	—	380,213	27,775	181,192	2,610,103	173,868	2,783,971	—	2,783,971
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	49,739	—	110,424	—	6,000	—	166,164	102,348	268,512	△268,512	—
計	1,691,689	378,971	110,424	380,213	33,775	181,192	2,776,267	276,216	3,052,484	△268,512	2,783,971
セグメント 利益又は 損失(△)	50,489	△36,514	△8,673	△31,074	9,377	14,648	△1,747	11,352	9,604	△68,696	△59,091

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事 業	みやげ 製造事 業	温浴施 設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	1,684,740	491,031	—	386,223	26,266	170,701	2,758,963	149,528	2,908,491	—	2,908,491
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	51,670	—	154,163	—	6,000	—	211,833	100,981	312,815	△312,815	—
計	1,736,410	491,031	154,163	386,223	32,266	170,701	2,970,797	250,509	3,221,306	△312,815	2,908,491
セグメント 利益又は 損失(△)	61,594	55,816	15,273	△23,733	4,260	9,873	123,084	3,647	126,732	△90,354	36,378

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。